



# さとし こうざき 聡 夢からはじまる

http://www.kouzakisatoshi.com

## 県政報告

自由民主党福岡県議団

令和8年5月号

昭和37年9月20日生  
 平成23年4月福岡県議会議員初当選  
 平成27年4月二期目  
 平成31年4月三期目  
 令和5年4月四期目  
 添田町立添田小学校・添田中学校卒  
 福岡県立田川高等学校卒  
 日本大学商学部会計学科卒  
 麻生セメント株式会社入社・株式会社  
 麻生情報システム転籍  
 株式会社麻生情報システム代表取締役  
 社長  
 福岡県農林水産副委員長、福岡県総務  
 企画地域振興委員長

自由民主党福岡県議団  
 県民生活高工常任委員会委員  
 国際化・多文化共生社会調査特別委員会副委員長  
 福岡県議会議員 **神崎 聡**

令和8年度当初予算が可決され、一般会計で二兆三千億二千七百万円、特別会計の総額で一兆百七十九億一千百万円、企業会計の総額で四百七十六億九千八百万円余となっており、一般会計は前年度当初予算比五、一%増となっております。

歳入では、個人県民税、法人二税及び地方消費税が堅調であることから、県税等で六百四億円増となっており、また、国の物価高騰対応 重点支援地方創生臨時交付金の増により国庫支出金が百四十二億円増となっております。

県債は、県有施設整備費の増等により、全体では百四十八億円増となっております。

歳出では、物価高対策として公立小学校などの給食費支援でおよそ一億五千億円を上するほか、中小企業の成長投資による賃上げ支援のため貸上げ額に充て最大四分の三の同貸補助を行う予算におよそ三億七千万円を充てています。

また、日産自動車の生産拠点の苅田町移管を見越し、サプライチェーン強靱化のためおよそ五億五千万円を計上しています。

県政が抱える先送りできない課題に対し、四月より本方組織を十部体制から五十七年ぶりに見直し、政策企画の司令塔となる「政策企画部」の設置をはじめとする十一部体制としています。

新たな組織のもと、県議会もさらに豊かな未来へ「翔」け上がる福岡県を実現してまいります。

スマートフォンでも県議会画面中継

ブログ報告

動画報告

フェイスブック

フェイスブックページ

ツイッター

ツイッター

## 令和8年度当初予算

### チャレンジと安心! 豊かな未来へ「翔」け上がる福岡県

- 人を育て、すべての人の活躍を応援する
- 産業を育て、県経済を強くする
- 人を惹きつける元気なまちをつくる
- 健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る

一般会計歳入歳出規模

16か月予算 2兆4,132億円

過去最大

当初予算	2兆3,000億円	} 2月定例会提案額 2兆3,822億円
2月補正予算	822億円	
12月補正予算(既決)	310億円	

県税収入 8,308億円 (過去最大)

※令和8年度当初予算は、国の経済対策を最大限活用した令和7年度12月補正予算及び令和7年度2月補正予算と合わせた16か月予算として一体的に編成

### 財政改革プランの目標達成状況

	目標(8年度末)	8年度末見込
県債残高(普通会計ベース)	○ やむを得ない要因(※)を除いた令和8年度末の通常債残高を令和3年度末よりも500億円程度圧縮	令和3年度末に比べ <b>603億円の減</b>
財政調整基金等三基金残高(財源調整分)	○ 令和8年度末の財政調整基金等三基金残高を400億円~500億円確保	<b>714億円</b>

※ やむを得ない要因：災害復旧・復興対策、国の防災・減災、国土強靱化への対応、国の補正予算対応、減収補填債発行、コロナ感染症対策



## 人を育て、すべての人の活躍を応援する

### 「出会い」を創出し、「結婚」、「妊娠・出産」を応援

#### 「私のライフプラン」を応援 1,128万円（「私のライフプラン」応援費）

- 高校生、大学生、社会人それぞれの年代に応じた将来の「結婚・妊娠・出産」、「仕事・子育て」に関する知識を啓発するショート動画を制作・配信し、若い世代のライフプラン作りを応援

#### プレコンセプションケアを促進 492万円（プレコンセプションケア促進費）

- 専門医による対面相談、予期せぬ妊娠に悩む若年者等の妊娠判定費用を助成し、妊娠・出産・性感感染症に不安を抱える若年層を支援

#### 卵子凍結による妊よう性※温存等に関する課題を検証 [2月補正] 1億2,217万円

（卵子凍結による妊よう性温存等課題検証費）

- 卵子凍結及び凍結卵子を用いた生殖補助医療の費用を助成し、早期に妊娠する力が低下する可能性がある人を支援
- 卵子凍結等に関する正しい知識を啓発するための動画を制作・配信

※妊よう性：妊娠するための力

#### 遠距離を通院する産婦等を支援 476万円（産婦等のための遠距離通院支援費）

- 産婦健診や先進医療を含む不妊治療等のため、受診に概ね60分以上の移動時間を要する産婦等の交通費を支援

### 「こども」の健やかな成長を応援

#### こどもの学びを充実

#### 県立高校「Fukuoka Ignite Canpass ※～学びの心に火をつける～（仮称）」を構築 1,038万円

（県立高校 Fukuoka Ignite Canpass 構築費）

- 在籍校にとわらず、学校の枠を越えて高い指導力を持つ教員の講座をオンデマンドで視聴できる動画サイトを構築
- ※ignite（点火する）canpass（can（できる）+pass（合格する））を campus（キャンパス・学舎）とかけた造語

#### AIと創る「書く」「話す」英語学習モデルを構築 1,844万円（AIと創る「書く」「話す」英語学習モデル構築費）

- 生成AIアプリを導入し、英語のスピーキング力・ライティング力の向上を図る
- 学習モデルを構築



<生成AIによる英語学習>

#### 質の高い教科指導のための小学校専科教員を配置 3億3,176万円

（質の高い教科指導のための小学校専科教員配置費）

- 小学校4～6学年の体育の授業における安全性と質の向上を図るとともに、クラス担任の負担軽減を図るため、専科教員（体育）を県独自で配置

#### スクールロイヤーによる学校サポート 769万円（スクールロイヤーによる学校サポート費）

- 学校だけでは解決困難な事案に対処するため、弁護士（スクールロイヤー）を配置し、学校を支援

#### 産業イノベーション人材育成のための高校教育改革を推進 3,333万円（高等学校等教育改革促進費）

- 改革を先導する拠点校における取組を準備するため、コーディネーターを配置
- 教育委員会事務局の体制を整備し、高校教育改革実行計画を策定

#### 生徒の健康を守る！県立高校にエアコンを整備 22億8,639万円 [2月補正] 4億1,825万円

（生徒の健康を守る県立高校エアコン整備費）

- 生徒の健康を守り、災害時における避難所環境の改善を図るため、体育館等へのエアコン設置のための設計及び工事を実施

【整備計画】

施設名	総整備費	整備費										完了時期
		R8	R9	R10	R11	R12	R13					
体育館	213億円	95区	25区	34区	36区							R10
特別教室 教室・廊下	160億円	1,663区	10区	44区	111区	713区	650区	145区				R13
計	373億円											

※特別教室、食堂・厨房については、設計を実施

体育館には、風や音が少ないことで競技の妨げにならず、必要な空間のみの室温調整が可能で省エネ性能にも優れた輻射パネル併用方式を採用



<輻射パネル×パッケージエアコン>

#### 学校給食費の抜本的な保護者負担軽減を実施 152億8,916万円（学校給食負担軽減費）

- 公立の小学校段階の学校給食の食材費を支援（723校分）

#### 福岡の食材を学校給食に！食育・地産地消を推進 6,293万円

（福岡の食材を学校給食に！食育・地産地消推進費）

- 県産農林水産物の利用拡大を図るため、デジタル技術を活用した調達システムを開発
- 生産者団体や企業との協働による体験型食育プログラムの開発や県産食材の生産現場を紹介する動画コンテンツを作成し、学校における食育を推進



<博多和牛を使った給食>

#### 食べて学ぼう！県産ブランド農林水産物を提供 [2月補正] 3億7,244万円

（食べて学ぼう！県産ブランドを活用した食育推進費）

- 学校給食において、博多和牛や福岡有明のりなど本県自慢のブランド農林水産物を提供

#### 日本語指導が必要な児童生徒への支援体制を整備 1,252万円

（日本語指導が必要な児童生徒への支援体制整備費）

- 小中学校への支援員の配置や学習支援アプリの導入等の支援、アドバイザーの派遣により学習指導や相談対応を充実
- 日本語指導担当教員の指導力を向上させるための研修を実施

### 「こども・若者」のチャレンジを応援

#### 未来子どもチャレンジ応援プロジェクトを推進 3,963万円（高校生∞（無制限）チャレンジ費）

- 高校生が地域固有の課題・ニーズに挑戦する「ローカルイノベーションチャレンジ」、ソーシャルビジネスの起業を目指す「アントレプレナーズチャレンジ」を応援
- 地域や社会で活躍できる若者を育成する「キャリアデザインコミュニティ」を開発

#### 「福岡から世界へ」人材育成プロジェクトを推進 6,546万円（「福岡から世界へ」人材育成プロジェクト費）

- 産学官が連携し、社会課題や持続可能な地域づくりへの取組意欲が高い高校生が自ら作成したプログラムによる海外留学を支援

#### フードビジネス分野におけるハワイ州との交流により国際人材を育成 998万円

（ハワイ州とのフードビジネス分野における人材育成交流費）

- フードビジネスを学ぶ学生がハワイ州の学生と合同で商品の開発・販売に挑戦

### 社会を支える「担い手」を育成

#### キャリアに応じた看護職員を確保・養成 2,543万円（看護師等確保・養成費）

- 「あなたの未来がきっと見つかる」看護の就職フェアの開催、「安心と自信を育む」新人看護職員教育体制の構築
- 「また働きたいを支援！！」復職支援研修の充実、「多様な働き方をあなたに」プラチナナース※の就業継続を支援

※プラチナナース：55歳以上の看護職員

#### 介護サービス事業所における外国人介護人材の受入・定着を支援 1,697万円 [2月補正] 1,283万円

（外国人介護人材の受入・定着支援費）

- 就労希望の特定技能候補者と事業所のマッチング、外国人材を指導する職員向けの研修会等を実施
- 携帯型翻訳機や多言語対応の介護記録ソフト等の導入を支援

#### 介護福祉士養成施設におけるDX教育を充実 [2月補正] 2,000万円（介護福祉士養成施設教育充実費）

- DXが進む介護現場の実情に即した介護人材を養成するため、介護福祉士養成施設に介護ソフトなどのICT機器を導入

#### 未経験分野への就職にチャレンジする若者を応援 5,093万円（若者の未経験分野への就職チャレンジ応援費）

- ものづくりやITなどの未経験分野への就職を希望する若者に、合同企業説明会によるマッチングから就職後のOff-JTまで一貫して支援

#### 地域限定保育士試験の実施による保育人材の確保 1,772万円（地域限定保育士試験費）

- 実技講習会の受講により保育士資格の取得に必要な実技試験が免除される地域限定保育士試験を実施

#### 協働クリエーションプログラム「Biz×Social Bridge」を推進 470万円

（協働クリエーションプログラム「Biz×Social Bridge」事業費）

- 企業の社会貢献活動を促進するため、活動手法を検討するためのワークショップやNPO等の活動現場を訪問するフィールドツアー、協働パートナーとなるNPO等とのマッチングを実施



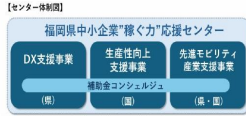
# 産業を育て、県経済を強くする

## 県経済の原動力「中小企業」の成長を支援

### ■ 中小企業の稼ぐ力を高め、持続的な質上げを実現

「福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター(仮称)」を設置 1億5,154万円 (中小企業稼ぐ力強化支援費)

- ・ 中小企業のDX、生産性向上、先進モビリティの開発・生産について、国の機関と一体的な支援を実施



中小企業の成長投資による質上げを応援 3億6,733万円

(中小企業成長投資・質上げ応援費)

- ・ 質上げに取り組む中小企業の製品開発・設備導入補助に係る補助率を嵩上げ
- 補助率：30円以上60円未満の質上げを行う場合 2/3
- 60円以上の質上げを行う場合 3/4
- 対象補助金：半導体後工程関連製品開発補助、宇宙ビジネス製品・サービス開発補助など 全33種

「DX・生産性向上支援資金」を創設 融資枠300億円 (中小企業振興資金融資費)

- ・ 中小企業のDX・生産性向上を促進するため、中小企業制度融資において保証料補てんを実施

[保証料]

- ①福岡県中小企業“稼ぐ力”応援センター(仮称)の支援を受けDX等に取り組む企業に対し、県が1/2補てん(0.45~1.90% → 0.225~0.95%)
- ②生産性向上に取り組む中小企業に対し、県が一部補てん(0.45~1.90% → 0.45~1.62%)

「経営改善促進特別融資」を創設 融資枠400億円 (中小企業振興資金融資費)

- ・ 物価高等により厳しい状況にある中小企業の経営改善を支援するため、R8年度に限り保証料を低減した特別融資を創設

[保証料] 0.45~1.75% → 0.15~1.17%

中小企業の支援情報アプリを開発 3,082万円 (中小企業支援情報アプリ開発費)

- ・ 中小企業の課題に適した支援情報をAI検索機能により簡単に調べられるアプリを開発

中小企業の事業継続力を強化 3,741万円 (中小企業事業継続力強化支援費)

- ・ 災害や感染症などの経営リスクに備えた実効力の高い計画策定・更新のため、専門家による伴走支援を実施

円滑な事業承継を支援 3,026万円 (事業承継に向けた中小企業収益力強化費)

- ・ 事業承継計画を策定した中小企業が取り組む販路開拓やデジタル技術導入等を支援

### ■ 中小企業を支える人材の確保・育成を支援

奨学金返還支援による中小企業の人材確保を支援 5,047万円 (奨学金返還助成による中小企業人材確保支援費)

- ・ 若手人材の確保のため、奨学金の代理返還等を行う中小企業への助成を実施

小規模事業者の人材確保の取組を支援 2,100万円 (小規模事業者人材確保支援費)

- ・ 商工会議所・商工会が行う事業者の職場紹介動画の作成や会社見学会の開催を支援

商店街のがんばる若手経営者を育成 577万円 (がんばる商店街若手人材育成支援費)

- ・ 市町村・商工団休と連携し、若手経営者グループによる地域の商店街振興に向けた活動を支援

「ふくおか未来型園芸農業創出コンソーシアム」による農業研究開発力の強化 462万円

(ふくおか未来型園芸農業創出コンソーシアムによる研究強化費)

- ・ 農業の生産性の向上と環境負荷の低減を実現するため、企業や大学、国の研究機関等と連携し、園芸農業における先進技術の開発・普及を進めるコンソーシアムを組成



<カノコウ>

### ■ 農林水産業の競争力強化

中山間地域の新たな収入源を確保 1,082万円 (中山間地域の新たな収入源確保対策費)

- ・ カノコウなど薬用作物の化粧品分野等への活用に向け、大学と連携した需要調査や栽培技術指導を実施

<継続事業>

園芸農業の競争力を強化 14億5,350万円 [2月補正] 32億2,132万円

- ・ 園芸産地の育成、雇用型経営導入等に必要施設・機械の導入を支援

- ・ 施設を利用する農業者の負担軽減を図るため、国の補助率を嵩上げし、施設の高機能化・統合を推進

水田農業の競争力を強化 1億4,495万円 [2月補正] 36億5,143万円

- ・ 農作業省力化及び生産規模拡大に取り組む担い手が行う機械の導入を支援

- ・ 施設を利用する農業者の負担軽減を図るため、国の補助率を嵩上げし、施設の高機能化・統合を推進

- ・ 変類の園産化を推進するため、県産変類産地の生産性向上に必要な費用を助成

畜産業の競争力を強化 [2月補正] 7億673万円

- ・ 生産効率の改善を図る畜産農家に対し、畜舎等の整備を支援

林業の生産力を強化 [2月補正] 4億1,961万円

- ・ 県産木材の供給力強化を図る高性能林業機械等の整備を推進

- ・ 生産性向上に取り組むきこ生産者に対し、生産に必要な資材の導入を支援

ものづくり中小企業の技術高度化による収益力向上を支援 [2月補正] 5億5,519万円

(技術高度化による中小企業収益力強化費)

- ・ 工業技術センターの各研究所に先端ものづくり設備を導入し、中小企業の製品開発を強力に支援

研究所名	導入設備
機械電子研究所	半導体製造装置や自動車向け金属材料の高機能化のための加工装置、分析装置
化学繊維研究所	リサイクル材料(樹脂や繊維)の高機能化のための分析装置、試作装置
インテリア研究所	建築材料の機能性能向上のための分析装置
生物食品研究所	食品の機能性向上、機能性向上のための分析装置

小規模事業者の質上げに向けた稼ぐ力を強化 [2月補正] 2億4,194万円

(小規模事業者の質上げに向けた稼ぐ力強化支援費)

- ・ 新商品開発や販路開拓の取組を支援し、小規模事業者の持続的な質上げを促進

中小企業の販路開拓を支援 4,846万円 (中小企業販路開拓強化費)

- ・ 首都圏等で開催される中小企業向け大規模展示会への出展回数・企業数の拡大により、販路開拓を強化

持続的な質上げに向けた中小企業の価格転嫁を支援 880万円 (中小企業価格転嫁円滑化・質上げ支援費)

- ・ 価格交渉や価格転嫁に関する相談を受け付ける「価格転嫁相談窓口(仮称)」を設置

<12月補正計上事業>

- 業務のDX等により生産性を向上させ、質上げに取り組む中小企業を支援 8億4,107万円
- 経営革新計画により売上を向上させ、質上げに取り組む中小企業を支援 3億9,131万円

### ■ 中小企業の持続的な成長を実現

経営改善サポートデスクを開設 6,491万円 (中小企業経営改善支援体制強化費)

- ・ 早期の経営改善に取り組む中小企業への支援体制を強化するため、新たに経営改善サポートデスクを開設
- ・ 専門家派遣による販路拡大や新商品開発の支援を強化

## 生産力を強化し、「強い農林水産業」を実現

### ■ 農林水産業の生産構造の転換

未来の農業をつくる構造転換緊急プロジェクトを推進 1億1,235万円

(未来の農業をつくる構造転換緊急プロジェクト費)

- ・ 地域における農地の将来像を示す地域計画のブラッシュアップや、農地の集約化に必要な機械の導入等を支援

未来の農業を支える担い手確保を強化 1億8,123万円 (未来の農業を支える担い手確保強化費)

- ・ 農業法人の人材確保に向け、農業高校生とのマッチングを実施
- ・ 企業の農業参入に関する相談に対応できるよう、ワンストップ相談窓口を設置

先端技術の導入により県産農産物等の生産を振興 2,427万円 [2月補正] 2億3,492万円

(先端技術による新品種開発費・AIを活用した「はかた地どり」改良施設整備費)

- ・ AI技術を活用した「はかた地どり」の肉質向上に向け、農林業総合試験場における原種鶏の育成・選抜のための調査を整備
- ・ 旨味が強く、消費者ニーズに合った「博多えのき」の新品種となる有望系統を選抜
- ・ 木材の生産性向上のため、伐採することなく立木のままで高精度強度測定ができる機器を開発



<はかた地どり>

農業に挑戦！新規就農者の機械等導入を支援 [2月補正] 2,693万円

(農業に挑戦！新規就農者機械等導入支援費)

- ・ 65歳未満の新規就農者が就農開始に必要なトラクターや病害虫防除機等の導入を支援

伝統工芸産地のオープンファクトリー化を推進 2,538万円 (伝統工芸産地オープンファクトリー推進費)

- ・ 小石原産地における年間を通じた工房見学・製作体験の体制づくりを支援
- ・ 久留米餅産地のオープンファクトリー情報を国内外に発信



<匠ギャラリー>

来て！見て！触れて！福岡の伝統工芸の魅力を発信 923万円

(「来て！見て！触れて！」福岡の伝統工芸魅力アップ費)

- ・ 福岡の伝統工芸を体験できる特設ブースを首都圏等の百貨店に出展
- ・ 産地と連携し、伝統工芸品の情報発信や新商品開発等に取り組む学生団体を支援

「トラディショナルクラフト@匠ギャラリー」伝統工芸の魅力を発信 2,395万円

(トラディショナルクラフト@匠ギャラリー費)

- ・ インバウンドに向けた魅力発信のため、匠ギャラリーにおいて伝統文化、伝統工芸の体験型企画展を開催

国内外の旅行者向け宿泊促進キャンペーンを実施 6億7,494万円 (県内送客促進事業費)

- ・ 海外OTAを活用し、訪日客向けに宿泊代金の一部を助成
- ・ 閑散期の平日に観光客を呼び込む「ふくおか平日おとく旅観光キャンペーン」を実施

県内周遊バスツアー「よかバス」による県内各地への周遊促進 3,606万円 (県内送客促進事業費)

- ・ 訪日客の県内周遊を促進するため、料金の一部を助成
- ・ 更なる利用促進を図るため、「よかバス」の魅力発信を強化

欧米豪・中東からの誘客を強化 2,649万円 (インバウンド高付加価値旅行推進費)

- ・ フランス、アメリカ、中東等からの旅行者の嗜好に合わせた高付加価値旅行商品を作成するとともに、現地旅行会社へのセールスや航空会社と連携したプロモーションを実施



## 人を惹きつける元気なまちをつくる

### 「住みつけたい、住んでみたいまち」をつくる

#### ■人を呼び込み、「魅力あるまち」をつくる

**住みたい！鉄道沿線まちづくりを推進 874万円**（住みたい！鉄道沿線まちづくり推進費）  
 ・ 嘉飯・粕屋・遠賀の3圏域において、駅周辺に保育所や交流広場等の生活に必要な機能を誘導する「鉄道沿線まちづくり」を推進

**空き家再生による子育て世帯の住宅取得を応援 3,175万円**（空き家再生子育て応援費）  
 ・ 市町村、買取再販事業者と連携して空き家を再生し、若年・子育て世帯の住宅取得を応援して定住につながるモデル事業を実施

**「2027年国際園芸博覧会」に県独自の庭園を出展 1億165万円**（国際園芸博覧会出展費）  
 ・ 花あふれる美しいまちづくり、造園・花きなどの地域産業の振興や本県への誘客に向け、「未来へつながるワンヘルス」「福岡県の魅力」をキーワードにした庭園を出展

**花あふれる県立学校プロジェクトを推進 1,337万円**（花あふれる県立学校プロジェクト費）  
 ・ 校門や昇降口など生徒や来校者の目に触れる場所に「一人一花」ロゴマークを挿した花壇やプランターを整備し、ワンヘルス教育を推進

**筑豊緑地にスポーツクライミング施設を整備 2億9,000万円**（県営公園スポーツ施設整備費）  
 ・ オリンピック種目で競われたスポーツクライミング「ボルダリング」「リード」「スピード」の三種類を備えた県内唯一の施設整備に向け、造成工事を実施

**新潟県との連携を推進 810万円**（新潟県連携推進費）  
 ・ 食・酒・ものづくり・世界遺産などの両県共通の強みを活かした地域間交流を促進するため、「新潟県・福岡県連携会議 in 福岡」や新潟県と連携した食に関する観光情報発信を実施

**地域伝統行事お助け隊の登録促進による地域内外の交流を推進 294万円**（助け隊！福岡の地域伝統行事支援費）  
 ・ 地域の企業、大学・高校、自衛隊への働きかけやボランティア証明書の発行により、お助け隊員数を拡大



<地域伝統行事お助け隊>

**移住・定住を促進 1,510万円**（福岡県移住・定住促進費）  
 ・ SNS等を活用し、県内市町村の魅力を発信する移住・定住プロモーションを実施  
 ・ 東京都内の大学等の学生が県内企業に就職する際の交通費・移転費用への支援を拡大

**「ふるさと福岡県応援基金」を設置 1億円**（ふるさと福岡県応援基金設置費）  
 ・ 「ふるさとのために貢献したい」という気持ちにいつでも応えられるよう、ふるさと納税を積み立てるための基金を設置

#### <継続事業>

**安全で快適な道路を整備 135億7,595万円**【2月補正】18億6,208万円  
 ・ 通学路の歩道整備や交差点の改良工事等を実施  
 ・ 市街地における道路の拡幅やバイパス整備を実施

#### ■「地域公共交通」を活性化

**交通空白地域を解消 9,586万円**（交通空白解消集中対策費）  
 ・ データに基づく広域的な地域交通網の最適化や、交通の結節点となる広域モビリティハブの構築、コミュニティバス等の車両位置情報提供システムの導入など、交通空白地域の解消に取り組む市町村を支援

**地域公共交通の担い手の確保・職場定着を支援 2,562万円**（地域公共交通運転手確保対策費）  
 ・ 乗合バス・タクシー事業者に対し、人材確保や人材定着ノウハウ向上のためアドバイザーを派遣  
 ・ 3大都市圏から福岡県内に移住し、乗合バス事業者や地域鉄道事業者に就職する運転手に奨励金を支給

**乗合バス・タクシー事業者のエコタイ導入を支援** 【2月補正】3億3,200万円  
 （バス・タクシーエコタイ導入支援費）  
 ・ 物価高により厳しい状況にある乗合バス・タクシー事業者に対し、燃費性能が高いエコタイの導入を支援

#### <継続事業>

**地域鉄道の安全、安定的な運行継続を支援 3億775万円**  
 ・ 地域鉄道事業者が行う車両更新、安全輸送設備の整備を支援

#### ■福岡の「へそ」嘉飯圏域を振興

**嘉飯圏域の魅力発信 521万円**（嘉飯圏域魅力発信費）  
 ・ 福岡都市圏や首都圏内の飲食店と連携し、食や観光などの嘉飯圏域の魅力を発信する「ふくおかの『へそ』魅力体験フェア」を実施

**ITスタートアップ創出拠点「e-ZUKA TECH GUILD(仮称)」を設置 2,459万円**（e-ZUKA TECH GUILD事業費）  
 ・ 起業を目指す学生・研究者を支援するため、企業・学生・研究者が集い、IT技術を活用して企業が抱える課題にチャレンジする拠点を飯塚研究開発センターに設置  
 ・ 起業に意欲のある学生・研究者向けのビジネスプランコンテストを開催

## 「スポーツ」の力で、人とまちを元気にする

**世界で活躍するアスリートの育成体制を整備 1億7,323万円**（世界で活躍するアスリート育成体制整備費）

・ 海外選手の招聘・育成、海外選手との交流による県内アスリートの強化・育成を図るため、国内最高峰のインターナショナルトレーニングセンター開設に向けて、アクション福岡改修の基本計画の策定、基本・実施設計を実施

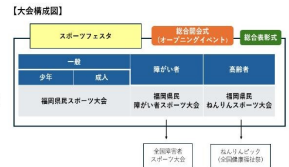


<アクション福岡>

**「福岡×オセアニア～ワールドクラスアスリート育成プロジェクト～」を推進 2,511万円**（福岡×オセアニア～ワールドクラスアスリート育成プロジェクト費）  
 ・ オセアニアオリンピック委員会等と連携し、海外アスリート受入に向けた協議会の設置や、オーストラリアやフィジーと水泳・ラグビーなどの競技で相互派遣による強化合宿を実施

**インクルーシブなスポーツの祭典を開催 2,690万円**（スポーツフェスタ開催費）

・ 県民スポーツ大会、県民障がい者スポーツ大会、県民わんりんスポーツ大会を一体化したスポーツフェスタのオープンイベントを開催  
 ・ 県民スポーツ大会の参加年齢を中学生年代に拡大



## 「文化芸術」の力で、人とまちを元気にする

**「福岡県文化芸術振興基金」を設置 48億4,136万円**（文化芸術振興基金設置費）  
 ・ 心豊かで活力のある元気な「ふるさと福岡」の実現に向け、約50億円の新基金を設置  
 ・ 世界水準の芸術の誘致や人材育成など、県単独で中長期的に取り組む必要がある施策に活用

**新県立美術館の建設に着工 65億2,270万円**（新福岡県立美術館建設費）

**「福岡県アーツカウンシル(仮称)」設立に向けた準備 5,527万円**（福岡県アーツカウンシル(仮称)設立準備費）  
 ・ 文化芸術活動の担い手を育成・支援する組織の設立準備や、将来の文化芸術を担う若手芸術家の活動に対する支援を実施

**人とまちを元気にするまごころアートの普及を促進 1,153万円**（人とまちを元気にするまごころアート普及促進費）  
 ・ 障がいのある人が制作したまごころアートをART FAIR ASIA FUKUOKAへ出展・販売、コンビニとタイアップした商品販売、新県立美術館の工事仮囲いに活用  
 ・ 九州産業大学と連携した「まごころアート ひらめき宣伝部@九産大」において、まごころアートを活用した商品開発や県民の認知度向上のためのPRを実施

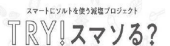


<ART FAIR ASIA FUKUOKA での展示>

## 県民の「健康」づくりを推進

**血圧測定の習慣化を推進 3,675万円**（血圧測定習慣化推進費）  
 ・ 市町村や企業と連携し、生活習慣改善のための継続的な血圧測定の必要性を普及

**「TRY!スマソる?」を推進 3,144万円**（スマソる推進費）  
 ・ 減塩レシピのコンテストや試食会、レシピのSNS発信により普及を拡大



**九州大学の久山町研究を活かした生活習慣病予防を推進 4,400万円**（久山町研究を活かした生活習慣病予防推進費）  
 ・ ふるさと福岡県応援基金を活用し、生活習慣病予防のための企業向け研修動画の作成や県民向け公開講座等を実施

**認知機能低下の早期発見・早期予防を推進 806万円**（認知機能低下の早期発見・早期予防推進費）  
 ・ VRや視線追跡技術など新たな技術を活用したスクリーニング検査や、運動と栄養指導などを組み合わせた新たな知見による予防プログラムに取り組む市町村を支援  
 ・ 県民向けの講演会や啓発動画等の制作により、認知機能低下の早期発見・早期予防の重要性を啓発



# 健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る

## 「環境」を守り、未来につなぐ

### ■生活の中のツナグ活動を後押し

きれいで豊かな博多湾の海づくりを推進 2,802万円 (博多湾きれいで豊かな海づくり推進費)  
・水生生物に必要なリン濃度の調査・分析を実施し、環境基準に係る水域類型の見直しを検討

道路・河川・海岸のボランティア団体の活動を支援 8,530万円 (道路・河川・海岸愛護団体活動支援費)  
・担い手の確保を行うため、PR動画等を作成し配信  
・愛護活動を活性化するため、交流イベントの開催や清掃等の作業負担軽減に向けた更なる支援を実施

犬猫のいのちをつなぐ活動を支援 462万円 (犬猫のいのちをつなぐ活動支援費)  
・犬猫の致死処分ゼロを維持するため、動物愛護団体の収容能力拡大への支援や一時預かりボランティアの養成を実施



<動物愛護センターで保護を待つ猫たち>

### ■感染症の流行や環境悪化を防ぐ

動物保健衛生所の開設に向けた体制を整備 1,280万円 (動物保健衛生所体制整備費)  
・動物の感染症情報を大学・国研究機関と共有するためのシステムを整備  
・ワンヘルスの理念に基づく感染症対策啓発イベントを動物園で開催



<動物保健衛生所完成イメージ>

AIを活用した不法投棄の監視パトロールを実施 419万円 (産業廃棄物監視指導強化費)

- ・動画からAIが不法投棄された廃棄物を感知するシステムを開発
- ・山林や河川敷など不法投棄多発地点を通行する協力企業や市町村の車両に撮影用端末を設置し、不法投棄の監視パトロールを実施

#### <継続事業>

保健環境研究所の建築工事を実施 79億5,531万円

- ・老朽化した保健環境研究所を太宰府市からみやま市に移転改築し、ワンヘルスセンターの中核施設として整備

動物保健衛生所の建築工事を実施 23億4,611万円

- ・老朽化した筑後家畜保健衛生所を筑後市からみやま市に移転改築し、ワンヘルスセンターの一翼を担う施設として整備

### ■脱炭素化を推進

ペロブスカイト太陽電池を率先導入 8億1,595万円

(次世代型太陽電池普及促進費・道路における次世代型太陽電池の活用に向けた試験導入費)

- ・導入可能性調査の対象を拡大し、県有施設への設置を加速
- ・道路施設に試験導入し、活用性を検証



<ペロブスカイト太陽電池>

GBNet福岡による使用済EVバッテリーの資源循環「福岡モデル」の構築を強化 5,134万円

(EVバッテリー資源循環「福岡モデル」推進費)

- ・リユース蓄電池・リユース太陽パネル普及のため、サブスクリプションの事業化を実証
- ・県内企業のリユース蓄電池市場への参入に向け、蓄電池製造業者とのマッチングを実施

## 「ワンヘルス」の取組をみんなで推進

みんなでやろうよ！身近なワンヘルスの取組への参画を推進 2,675万円

(みんなでやろうよ！ワンヘルス参画推進費)

- ・「ワンヘルス未来会議」が提案した実践活動を展開するため、行動を喚起する県民向けイベントの開催や市町村及びワンヘルス宣言事業者の取組を推進
- ・市町村やワンヘルス宣言事業者が実施する市民講座や研修会にワンヘルスマスターを派遣



ワンヘルス実践！多様な主体による生物多様性保全活動を支援 166万円

(ワンヘルス実践！生物多様性保全活動応援費)

- ・環境保全団体の継続的な活動を支援するための事業者の掘り起こし・マッチングを実施

「ワンヘルスの森」の魅力を向上 1億5,280万円 (ワンヘルスの森魅力アップ推進費)

- ・森林医学に基づく森林浴の効能に関するエビデンス取得のための実証や、ヨガ・アロマテラピーなどを取り入れた森林浴プログラムを実施
- ・動植物などを音声やARで案内する全国初の「森林浴ガイドナビゲーションシステム」を開発
- ・ワンヘルスの学習機能を備えたビジターセンターをCLT※を活用して整備

※CLT: Cross Laminated Timberの略で、木の板を繊維方向が直角になるよう重ねて接合したパネル。厚みが確保できるため、耐熱性や耐火性に優れる。

## 地域と連携し、質の高い「医療・介護・福祉」を提供

DXによる医療勤務環境の改善を支援 [2月補正] 16億8,000万円 (医療勤務環境DX支援費)

- ・病院の業務効率化や職場環境改善のため、電子カルテ閲覧端末やインカム等の導入を支援

医師の地域偏在対策を強化 6,440万円 [2月補正] 3,872万円 (医師偏在対策強化費)

- ・医師派遣や代替医師の確保、宿直室や更衣室等の整備を支援

災害時における介護サービスの持続的な提供を支援 [2月補正] 25億6,427万円

(介護サービス継続支援費)

- ・大規模災害等へ備えるためのポータブル電源や簡易トイレなどの備品購入や利用者の移送経費を支援

就労継続支援A型事業所の経営力を向上 400万円 (A型事業所経営力向上費)

- ・事業所に中小企業診断士等を派遣し経営改善計画の作成や販路開拓、商品開発などの伴走支援を実施

病気の子どもや家族を支える「子どもホスピス」の安定的な活動を支援 [2月補正] 1,714万円

(子どもホスピス活動支援費)

- ・重い疾患で思うように外出できない子どもや家族に体験活動等のサービスを提供するNPO等の「子どもホスピス」活動を支援

## 「防災・減災」対策を強化

### ■事前防災・減災対策の推進

「まもるくん」の機能を強化 2,896万円 (まもるくん機能強化費)

- ・災害に備えた防災学習情報や災害時の支援情報を閲覧できる機能を追加
- ・防災情報を簡単に検索できるAIチャットボット機能を追加
- ・防災情報を取得できるエリアを最大5エリアから県内全域へ拡大



県民への熱中症リスク情報の発信を強化 1,750万円 (熱中症リスク情報発信強化費)

- ・暑さ指数やクーリングシエーター等に関する情報を「まもるくん」やSNSで発信

大規模地震を想定した訓練を実施 585万円 (大規模地震訓練費)

- ・直下型地震を想定した図上訓練を実施

津波に対する備えを強化 59万円 (津波被害想定調査費)

- ・津波被害想定調査に向け、調査断面や調査項目を検討する専門委員会を開催

市町村の災害廃棄物処理のための体制整備を支援 594万円 (災害廃棄物処理体制整備費)

- ・迅速な初動対応を支援するため、実践マニュアルの策定に向けたひな形の作成、研修会、専門家による相談会を実施

流域治水を推進 8,640万円 (流域治水協働推進費)

- ・市町村や事業者が行う、ため池やグラウンド等の雨水貯留浸透施設の整備を支援

土砂・流木による洪水リスクを調査 2,989万円 (土砂・流木リスク調査費)

- ・土砂、流木の影響を見込んだ洪水浸水想定区域図作成に向けた調査を実施

土砂災害ハザードマップの充実に取り組む市町村を支援 493万円 (土砂災害ハザードマップ充実市町村支援費)

- ・土砂災害が発生するおそれのある箇所について、市町村のハザードマップ更新を支援

上下水道の強靱化を推進 3,030万円 (上下水道強靱化推進費)

- ・効率的な老朽化対策を推進するための、水道事業者間の広域化や人工衛星・AIを活用した漏水調査の導入を支援、災害時に備えた上下水道デジタル地図の活用研修を実施

国民保護の実効性確保に向けた受入体制の構築 1,268万円 (国民保護実効性確保に向けた受入体制構築費)

- ・石垣市・宮古島市からの要配慮者の円滑な受入れを行うための搬送計画案を作成
- ・国、沖縄県、九州・山口各県との共同実動・図上訓練の実施
- ・石垣市・宮古島市での地域イベントに福岡県ブースを出展し、両市の方々の福岡県への理解を醸成

#### <継続事業>

ため池等の安全対策を実施 52億9,280万円 [2月補正] 46億3,117万円

- ・ため池や農業用排水施設の整備等を実施
- ・災害に強い園芸地づくりのため、事業継続計画(BCP)の策定経費、計画に基づく非常用電源等の整備費を助成

洪水・土砂災害対策等を推進 229億403万円 [2月補正] 198億5,820万円

- ・河川の護岸、砂防施設、地すべり防止対策施設等を整備
- ・災害の再発防止及び被害の軽減を図るため、県内全域で河川の浸水や小規模な河川整備を実施

上下水道の強靱化を推進 6億8,520万円

- ・上下水道耐震化計画に基づく流域下水道施設の耐震化を実施

## 「福岡県神道政治議員連盟」の情報交換会

会場には県内各地から70名を超える神社関係者の皆様がお集まりになり、地域の伝統文化や信仰を守り続けておられる方々の熱意と責任感を改めて感じる貴重な機会となりました。

冒頭、議員連盟会長の加地邦雄先生よりご挨拶があり、「古来、日本は自然と共生し、和を尊び、人と人との繋がりを大切に育んできた。その精神は、まさに神社を中心とした地域の営みの中で守り伝えられてきたものである」とのお言葉をいただきました。

この言葉は、地域社会の中で神社が果たしてきた役割の大きさを改めて実感させてくれるものであり、私自身、深く胸に響きました。

神社は単なる宗教施設ではありません。地域の歴史や文化、祭りや伝統行事の中心であり、人々が集い、世代を超えて絆を深める「地域の心の拠り所」とも言える存在です。

しかし現代社会においては、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化などにより、こうした伝統文化を守り継いでいくことが年々難しくなっている現状もあります。だからこそ、地域の神社や伝統行事を大切に、日本人が長い歴史の中で培ってきた価値観や精神文化を次の世代へと受け継いでいくことが、今の時代にとってこそ重要ではないかと感じています。

私たちは日々の生活の中で忙しさに追われ、つい足元にある伝統や文化の大切さを忘れがちになります。しかし、日本人としてのルーツにある歴史や文化、そして祖先から受け継がれてきた精神こそが、変化の激しい時代を生きる私たちにとっての「心の支え」になるのではないのでしょうか。

情報交換の場では、皇室のあり方や憲法改正、そして次世代を担う子どもたちへの教育の在り方など、日本の将来に関わるさまざまな課題についても意見が交わされました。

国の根幹に関わるこうしたテーマは、決して遠い世界の話ではなく、地域社会の価値観や文化とも深く結びついている問題であると改めて感じました。地域の歴史や伝統を守り続けてこられた神社関係者の皆様の声には、長い年月をかけて培われてきた知恵と経験が詰まっています。そうした声にしっかりと耳を傾けながら、これからの日本社会がどのような方向へ進むべきなのか、県政の場においても真摯に議論を重ねていかなければならないと強く感じました。

これからも地域の皆様との対話を大切にしながら、日本の伝統と文化を守り、次の世代へとつないでいくための政策づくりにしっかりと取り組んでまいります。



外国法人等による不動産の取得及び利用を制限するための法整備を求める意見書

近年、全国各地で外国の法人又は個人（以下「外国法人等」という。）による不動産の取得が進み、一部地域においては、水源地、農地、森林や我が国の安全保障や国土保全にかかわる重要施設周辺の土地などが外国法人等により取得される事例が相次いでいる。

また、外国法人等によるマンション等の投機目的での取得が不動産価格の高騰の要因の一つではないかと懸念もある。

国においては、令和四年九月に重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用規制に関する法律が全面施行されており、防衛関係施設等の重要施設の周辺や国境離島等の機能を阻害する土地及び建築物の利用を制限しているが、取得のものも規制には至っておらず、住宅地、農地、マンション等は対象に含まれないため、今後こうした不動産が外国法人等により取得される我が国の主権が脅かされるおそれもあり、安全保障上の重大な問題に発展するおそれがある。

また、我が国は、外国法人等による土地の取得及び利用を制限する権利を留保せずに世界貿易機関のサトウシヤの貿易に関する一般協定（GATS）を批准しているため、国内外において差別的な取扱いとなる立法を行うことは認められていない。しかしながら、GATS加盟国においても、安全保障上の観点から、外国法人等に対する不動産の取得を制限する権利を留保することや例外規定を援用することにより、自国の国内法で外国法人等の不動産取得の制限をした国もある。

よって、国におかれては、外国法人等による不動産の取得及び利用を制限するため、必要な法整備に早急に取組むよう強く求める。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

令和七年十二月十九日

福岡県議会議長 蔵内 勇夫

衆議院議長  
参議院議長  
内閣府理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
農林水産大臣  
国土交通大臣

金 鈴 片 林 高 関 額 須  
木 藤 山 口 野 開 野 賀 賀  
憲 憲 山 口 市 早 昌 一  
之 和 さ つ き 洋 正 苗 郎  
殿 殿 殿 殿 殿 殿 殿 殿

### 【外国法人等による不動産の取得及び利用を制限するための法整備を求める意見書】

令和7年12月定例会で、地方自治法第99条の規定に基づき、福岡県議会として国に対し意見書を提出しています。

地方自治法第99条では、地方公共団体が公益に関する事項について、国会または関係行政庁に意見書を提出できると定められております。これは、住民を代表する地方議会の意思を国に届ける重要な手段であり、地域の課題解決に向けた大切な役割を担うものです。

今回提出した「外国法人等による不動産の取得及び利用を制限するための法整備を求める意見書」については、県議会として問題意識を持ち、一般質問や各委員会において継続的に取り上げています。

遡ること平成30年6月議会においても、同様の趣旨の意見書を国へ提出しております。その背景には、北海道において外国資本による水源地を含む山林の買収が進んでいたこと、さらには長崎県において海上自衛隊施設周辺の土地が外国資本により取得される事案が発生していたことがあります。これらは、地域の安全や国の安全保障の観点からも看過できない問題でありました。

その後、地方からの声も受け、令和4年9月には「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用規制に関する法律」が全面施行されました。しかしながら、この法律はあくまで「利用」に関する規制が中心であり、「取得」そのものを直接制限するものではありません。また、住宅地や農地、マンションなどは対象外となっているため、今後も外国法人等による不動産取得が進む可能性があり、我が国の主権や安全保障に影響を及ぼす懸念が残されています。

こうした状況を踏まえ、より実効性のある法整備を求める意見書を国に提出するに至りました。

地域の安全と将来を守るため、引き続き現場の声を国へ届け、必要な制度整備が進むよう全力で取り組んでまいります。

## 福岡県日韓親善協会新春懇親会～福岡県日韓友好議連

ホテルニューオータニ博多において開催された、福岡県日韓親善協会主催の「新春懇親会」に来賓として出席いたしました。会場には、日韓両国の交流に携わる多くの関係者が集い、終始和やかな雰囲気の中で交流と親睦を深める機会となりました。

私自身、福岡県日韓友好議員連盟の副会長を拝命しており、日韓の地方交流の推進に微力ながら携わっております。福岡県は地理的にも歴史的にも韓国との関係が深く、古くから人や文化、経済の交流を通じて相互理解を築いてきた地域です。

特に福岡県議では、韓国の慶尚南道議会と友好交流協定を締結しており、議会同士の交流を通じて、地域課題の共有や政策分野での意見交換を行うなど、地方自治体レベルでの関係強化に取り組んでいます。このような交流は、国家間の関係が様々な局面を迎える中であっても、相互理解を支える大切な基盤となるものです。

日韓両国の関係は、政治や外交だけでなく、地域と地域、人と人との信頼関係によって支えられています。文化、教育、観光、経済など様々な分野で交流を積み重ねることにより、相互理解はより深まり、未来志向の関係が築かれていくものと確信しています。

これからも福岡県日韓友好議員連盟の一員として、地域間交流の促進に努めるとともに、日韓両国の人々が互いの文化や価値観を尊重しながら共生できる社会の実現に向け、努力してまいります。地方から広がる友好の輪が、両国のより良い未来につながることを願っています。



## 令和7年度筑豊地区私立幼稚園PTA連合会役員総会

筑豊地区私立幼稚園PTA連合会役員総会に出席

— 現場の声から見える4つの政策課題 —

令和8年2月26日、「令和7年度 第2回 筑豊地区私立幼稚園PTA連合会役員総会」が開催され、来賓として出席いたしました。

日頃より子どもたちの健やかな成長のためにご尽力いただいているPTA役員の皆様、園関係者の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

総会後には、県議会議員と園関係者・保護者の皆様との懇談・意見交換が行われ、現場の率直な声を直接伺う貴重な機会となりました。

幼児教育は人格形成の基礎を築く極めて重要な時期であり、家庭・園・地域が連携して子どもたちの「生きる力」を育んでいくことが重要です。

意見交換では、子育て世代が直面している課題が多く示されました。主な内容を4つの政策テーマとして整理します。

### ① 子育て世帯の経済的負担の軽減

子育て世帯からは、日々の生活に直結する費用負担について多くの声が寄せられました。

主な意見

- ・園の給食費値上げに伴う補助の拡充
- ・給食費無償化の検討
- ・副食費補助の有無など自治体間の制度格差
- ・インフルエンザワクチン費用（1回3,000～4,000円）の負担
- ・入園時の支援金制度の拡充
- ・3歳未満児の保育料無償化への期待

また、ふるさと納税などを活用し、子育て施策の財源に充てている自治体の事例なども紹介されました。

少子化が進む中、子育て世帯の経済的負担を軽減することは、人口減少対策としても重要な政策課題であると改めて感じました。

### ② 保育・教育現場の人材確保

保育・幼児教育の現場では、人材不足が深刻な課題となっています。

主な意見

- ・保育士・幼稚園教諭の確保が難しい
- ・有資格者の離職が多い
- ・処遇改善（給与改善）が十分でない
- ・無償化政策が進むとさらに人材不足が進む懸念
- ・外国人材の活用を検討する自治体もある

また、発達支援の分野でも

- ・発達支援やグレーゾーンの子どもの支援強化
- ・加配教員の不足
- ・相談機関の予約が取りづらく、支援につながるまで時間がかかる

などの課題が指摘されました。

子どもたちを支える現場の人材確保は、教育政策の基盤そのものであり、処遇改善や人材育成の充実が不可欠です。

### ③ 子どもの医療・子育て支援体制の充実

医療体制や子育て支援制度についても多くの意見が寄せられました。

主な意見

- ・飯塚市では病児保育施設が2か所のみで不足
- ・子どもが病気になった際、仕事を休みにくい
- ・自治体による支援制度の格差
- ・小児科医不足への不安
- ・オンライン診療の活用促進
- ・園でのワクチン接種の可能性

また、子育て家庭の中には孤立感を抱えている家庭もあるとの声もありました。

子どもが安心して医療を受けられる体制と、保護者が安心して働ける子育て支援の整備は、地域社会全体で支えるべき重要な課題です。

### ④ 子どもが安心して遊び学べる環境整備

子どもの遊び場や地域環境についても、多くの要望が出されました。

主な意見

- ・インクルーシブな公園整備
- ・公園に子ども用トイレがない
- ・雨天や猛暑でも遊べる屋内施設の不足
- ・乳幼児向け遊具のある室内施設
- ・既存公園の遊具整備・充実
- ・市営グラウンドの開放
- ・通学路の街灯や歩道の整備
- ・科学館や美術館など本物に触れる学びの環境

子どもたちが安全に遊び、体験を通して学べる環境づくりは、地域の魅力向上にもつながります。

現場の声を県政へ

今回の意見交換を通じて、制度の理念だけでなく、現場で子育てをしている保護者の視点から政策を考えることの重要性を改めて実感しました。

私自身、4人の子どもを育て、現在は孫を持つ祖父として、また県議会議員として、

- ・安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- ・教育環境の充実
- ・私立幼稚園への支援拡充
- ・保護者負担の軽減

に引き続き全力で取り組んでまいります。

今後も現場の声をしっかりと県政に届けてまいります。



自民党福岡県支部連合会会長 松本國寛先生 政経セミナー



筑豊地区中小企業団体連合会新春講演会



参議院自民党議員会長 松山政司先生 政経文化セミナー



公益社団法人田川青年会議所新春式典



**略歴**

- 昭和53年 彦田町立彦田中学校卒業
- 昭和56年 福岡県立田川高等学校卒業
- 昭和60年 日本大学商学部会計学科卒業
- 昭和60年 麻生セメント株式会社入社
- 平成2年 株式会社麻生情報システム 取締役
- 平成12年 株式会社麻生情報システム 取締役
- 平成13年 株式会社麻生情報システム 代表取締役
- 平成23年 福岡県議選（田川郡区） 初当選
- 平成27年 福岡県議選（田川郡区） 2期目当選
- 平成31年 福岡県議選（田川郡区） 3期目当選
- 令和5年 福岡県議選（田川郡区） 4期目当選

**福岡県議会での主な所属**

- 自民党福岡県連
- 県民生活商工常任委員会 委員
- 国際化・多文化共生社会調査特別委員会 副委員長
- 福岡県消費生活審議会 委員
- 福岡県文化議員連盟 副会長
- 福岡県タイ友好議員連盟
- 福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟
- 福岡県日韓友好議員連盟 副会長
- 福岡県日米友好議員連盟
- 福岡県日中友好議員連盟
- 福岡県国際交流推進議員連盟
- 福岡県ベトナム友好議員連盟
- 福岡県日台友好議員連盟
- 福岡県防衛議員連盟
- 福岡県果樹振興議員連盟
- 過疎地域活性化対策福岡県議員連盟
- 産地地域活性化対策福岡県議員連盟
- オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟
- 福岡県観光産業振興議員連盟
- 福岡県地域公共交通事業振興議員連盟
- 福岡県スポーツ推進議員連盟
- 九州・沖縄未来創造会議
- 九州の自立を考える会
- 日本会議福岡支部
- 田川直方バス延伸推進期成会 顧問
- 田川広域観光協会 理事
- 下関北九州道路整備促進福岡県議員連盟
- 福岡県日田彦山線沿線地域振興推進協議会 委員

**こうざき事務所**  
〒824-0602 田川郡添田町大字添田1417  
TEL: 0947-82-5559 FAX: 0947-82-5533

こうざきホームページ **こうざきさとし** 検索

第51回衆議院議員総選挙

